

第6次高浜市総合計画 基本計画【中期】〔素案〕に対する意見及び回答

パブリックコメント実施状況

- (1) 意見の提出期間 平成 25 年 11 月 6 日（水）～平成 25 年 11 月 20 日（水）
- (2) 意見件数 20 件（人数 7 名〔内訳：意見提出箱 2 名、直接 2 名、郵送 0 名、ファクス 1 名、Eメール 2 名〕）
- (3) 意見対応
- ①修正します（原案に対する意見に基づいて、原案を修正したもの）：0 件
 - ②原案どおりとします（原案に対する意見を検討したが、原案どおりとしたもの）：6 件
 - ③意見として承ります（原案の内容以外の意見を承ったもの）：7 件
 - ④その他（感想やご質問など）：7 件

番号	意見の対象箇所	意見	回答	対応
1	全ページ	<p>目標、計画を立てて業務を遂行する事は非常に良いことなので是非目標達成に向け努力をして下さい。目標は出来るだけ高い目標がいいでしょう、簡単に達成出来る様な目標はただの計画です、達成しても達成感も感激も無いでしょう、</p> <p>さて、11月6日の各グループ全体の目標についてですが、当日配布の資料の4頁の(2)基本計画によりますと、「まちづくりの目標に対する現状と課題、課題解決に向けた目指すべき姿や目標値、それらを達成するための具体的な手段等を示します・・・」と謳われています。又、3頁の(3)目指す姿を掲げ、達成状況を評価できる計画にはPDCAサイクルを回すとありますが。</p> <p>今日の説明で私が受けた感想としては、各グル</p>	<p><意見要旨></p> <p>◆資料だけでは、現状・課題把握が明確でないため、目標が適切かどうか、判断ができない。</p> <p><回答：地域政策グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案発表会では、限られた時間の中で全体の発表を行っており、現状と課題が十分にお伝えできなかったことは否めません。 ・しかし、素案策定にあたっては、前期基本計画の施策評価結果、課題等を洗い出した施策カルテ、地域や市民の声など、課題等を抽出し、高浜市にとって今、何が必要かを考え、重点化を図りながら策定を進めてきました。 ・施策カルテなど、素案策定の過程については、市公式ホームページで公開していますので、よろしくお願ひします。 	<p>③意見として承ります（原案の内容以外の意見を承ったもの）</p>

		<p>ープとも「現状と課題が明確ではありません」 現状の問題点は何なのか？の現状把握が全くありませんので、プランの時点で目標が適切かどうか判断出来ません、たとえば適切ではないかも知れませんが、たとえば子供達に将来どうゆう職業に就きたいかを発表させただけで、どうしてその職業を選んだのですかが有りません、子供にしてみれば、たとえば医者を目指した子の理由は「おじいさんが病気で苦しんで亡くなったので、私が病気で苦しまなくていいように、お医者さんになって助けてあげたい」とかの理由があるかもしれませんが、その理由が今回の中期基本計画の目標からは判断できません。高浜市やその市民にとっては、今回の目標より重要な目標が別にあるのかもしれませんが、せっかく各グループがやる気で努力するなら今現在一番重要で効果のある目標に取り組むべきではありませんか。又、テーマによっては実績の確認を何で確認したら良いのか非常に難しい事も解りますが、各目標について私の感じた事を書きました。</p>		
1-1	28～29 ページ 目標（1）全般 「まちへの想いを育み、未来を切り開くチカラを高めます」	行政、市民の何が問題なの？ 目標達成度の指標が高くなれば本当に目標達成できるの？	<意見要旨> ◆この目標における課題は何か。 <回答：地域政策グループ> ・少子高齢化の進展など社会構造が変化する中で受益と負担のバランスが崩れ、財政上の制約など、将来、さまざまな困難が予想されます。	④その他 （感想やご質問など）

			<p>•そこで、「いつまでも住みたい」と思える高浜市を創り上げていくため、<u>市民も、行政も、まちづくりの担い手である私たち一人ひとりが持っている力を出し合い、みんなで高浜市を創り上げていく取組みを進めています。</u></p> <p><意見要旨> ◆指標の数値が向上すれば、目標達成につながるのか。</p> <p><回答：地域政策グループ> •<u>目標（１）では、みんなで力を合わせてまちづくりを行うことを示す指標として、「地域活動に参加したことがある人の割合」を設定、その結果の指標として、「いつまでも住みたいと思っている人の割合」を設定しています。いずれも目標が達成された姿の達成度合いを示す目安になると考えています。</u></p>	
1-2	30~31 ページ 目標（２）全般 「将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います」	今迄は、計画的・効果的な運営ではなかったの？ 財政に関心を持っている市民が少ないと効果的な財政運営が出来ないの？	<p><意見要旨> ◆これまでは、計画的・効果的な財政運営ができていなかったから、この目標を立てたのか。</p> <p><回答：財務グループ> •<u>これまでも、計画的・効果的な財政運営に取り組んでまいりましたが、中期基本計画をスタートするにあたり、新たに公共施設のあり方に関する計画が策定され、また、中期財政計画など既存計画の改訂・見直しが行われます。こうし</u></p>	④その他 (感想やご質問など)

			<p>た計画内容を踏まえた財政運営を行い、市民の皆さんにその進行状況をしっかりとお伝えしていくといった趣旨で、新たな目標として設定しました。</p> <p><意見要旨> ◆財政に関心を持った市民が少ないと、効果的な財政運営に支障をきたすのか。</p> <p><回答：財務グループ> ・財政に関心を持っている市民が少ないからといって、必ずしも効果的な財政運営が出来ないわけではありません。しかし、<u>財政運営の状況をしっかりとお伝えすることで、市民の皆さんの財政に対する関心を高め、市の財政を「自分たちのお財布」という意識を持っていただくことが、効果的な財政運営の一助になると考えています。</u></p>	
1-3	34~35 ページ 目標(3)全般 「人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます」	文化スポーツのまちのチカラは何なの？ 文化スポーツの本来の目的は何、まちのチカラなの	<p><意見要旨> ◆目標(3)の担当部署である文化スポーツグループの業務目的は何か。「まちのチカラ」を高めることと、どうつながっているのか。</p> <p><回答：文化スポーツグループ> ・文化スポーツグループは「生涯学習の推進」「青少年の健全育成」「スポーツ推進」「文化振興・文化財保護」を業務目的としており、目標(3)は、これらの分野の今後4年間の方向性を描い</p>	④その他 (感想やご質問など)

			<p>たものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> •「<u>まちづくり</u>」は「<u>人づくり</u>」と言われることから、特に「<u>生涯学習</u>」の分野に力を入れていくことが重要です。 •<u>学びの第一歩は、知的好奇心を満たす、教養を深めるなど、「自己発見」「自己実現」といった「個人的な学び」から始まりますが、学んだ成果を個人の中にとどめてしまうのではなく、次世代を担う子どもたちの育成や地域のまちづくりに活かしていただくことが大切です。</u>そこで、<u>高浜市では、子どもに対するアプローチ、また、子どもの成長支援に関わる大人を増やす取組みを重視しています。</u> •「<u>まちのチカラを育む</u>」とは、<u>市民一人ひとりが自分の知識・技能・経験等を磨き、その成果が地域のまちづくりに活かされる、そしてそうした積み重ねによって人と人とのつながりが豊かになり、学びの輪が全世代へと広がっていくとともに、人やまちの魅力を高めることにつながっていくという、生涯学習が目指す姿を表しています。</u> 	
1-4	36~37 ページ 目標(4)全般 「学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の	現状の問題は何なの、なぜこの目標がでたの？ 学習に積極的取り組む子どもの割合はどうやって調査するの、今は積極的に取り組む子が少ないの？	<p><意見要旨> ◆現状の問題は何か。なぜこの目標が出たのか。 <回答：教育センターグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> •本目標を設定した理由は、「小1プロブレム」、「中1ギャップ」の軽減のためです。「小1プ 	④その他 (感想やご質問など)

<p>学びや育ちをつなげます」</p>		<p>ロブレム」とは、小学校入学期に小学校生活や集団生活にうまく適応できなかつたり、このことによって授業が成立しにくい状況が生まれたりすること、また、「中1ギャップ」とは、中学校入学期に新しい環境での学習や生活へうまく適応できず、不登校等の問題行動につながっていく事態を言います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高浜市においても、<u>園から小学校へ、小学校から中学校へ上がる</u>ときに、<u>戸惑う子</u>がいるのも事実です。中には、登校渋り・母子分離不安、不登校等を引き起こすこともあります。 • そこで、各学校間のスムーズな縦の連携を目指して、中期基本計画の期間である4年間では、「幼・保、小、中一貫教育」の推進に力を入れ、きめ細やかな教育活動の実現を目指します。<u>園から小学校へのつなぎの部分に、また、小学校から中学校へのつなぎの部分に、子どもが戸惑いなく、円滑に進んでいけるような教育活動の工夫を</u>します。 <p><意見要旨></p> <p>◆<u>学習に積極的に取り組む子どもの割合は、どうやって調査するのか。</u></p> <p><回答：教育センターグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> • 一口に「積極的に」といっても様々な要素が入ります。そこで、高浜市としては、<u>市内全ての小学3年生から中学3年生までに、</u> 	
---------------------	--	--	--

			<p>①「あなたは、授業中に手をあげて発言していますか。」</p> <p>②「あなたは、授業中に先生や友達の話を聞いていますか。」</p> <p>③「あなたは、家で宿題以外の勉強をしていますか。」</p> <p>という3項目を質問し、4つの選択肢（①「している」、②「どちらかといえばしている」、③「どちらかといえばしていない」、④「していない」）の中から一つ選択して回答してもらっています。</p> <p>・割合は、3つの質問について、「している」「どちらかといえばしている」の結果をもとに数値化します。</p> <p><意見要旨></p> <p>◆今は積極的に学習に取り組む子どもが少ないのか。</p> <p><回答：教育センターグループ></p> <p>・今回の調査では、「している」+「どちらかといえばしている」を合わせると69%という結果でした。</p> <p>・今後は、この現状値を踏まえ、学習に積極的に取り組む子どもがさらに増えるよう、取組みを進めます。</p>	
--	--	--	--	--

<p>1-5</p>	<p>38～39 ページ 目標（5）全般 「地域ぐるみで子育て・子育てを支えます」</p>	<p>高浜市は子供を産み、育てやすい環境ではない いんだ</p>	<p><意見要旨> ◆このような目標を掲げるということは、現状では、高浜市は子どもを産み育てやすい環境にはないということか。 <回答：こども育成グループ> ・「第6次総合計画推進における市民意識調査」結果によれば、「子どもを産み、育てやすいと感じている人の割合」は、計画策定時（平成22年）の値 59.0%に比べ、平成24年度実績値は 6.6%の伸びが見られ、子育て・子育て支援に対する満足度は向上しています。子育て中の家庭が、安心して子どもを産み育てやすいと実感していただけるよう、これまでも様々な事業を展開してきた成果の表れであり、決して子どもを産み、育てにくい環境にあるわけではないと考えています。 ・しかし、子育てに求めるニーズは、年々ますます多様化しています。今後も、できるだけ多くの子育て家庭のニーズに対応できるよう、「高浜市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたってはニーズ調査を行い、調査結果をもとに事業を実施し、より安心して子どもを産み、育てやすい環境を整えていきたいと考えています。</p>	<p>④その他 （感想やご質問など）</p>
------------	---	---	--	-------------------------------------

<p>1-6</p>	<p>42~43 ページ 目標（6）全般 「産業を活性化して、 まちを元気にします」</p>	<p>産業を活性化して・・・なのに目標②の行政が かかわるイベントの来場者数との関係は何？</p>	<p><意見要旨> ◆指標2)「行政がかかわるイベントの来場者数」 が目標の達成度を計る指標にあがっているが、 目標「産業を活性化して、まちを元気にします」 と、どのような関連があるのか。 <回答：地域産業グループ> ・観光は産業の一つであり、魅力あるイベントは <u>観光の一要素</u>であると考えています。 ・イベントに来場されるお客様は、市民に限らず <u>市外からの来場も多数あります。</u>そうした方た <u>ちがイベント会場にとどまらず、市内の他のス</u> <u>ポットを訪れ、飲食をしたり、地場の特産品な</u> <u>どを購入することにより、他の産業への波及効</u> <u>果も生まれるなど、産業の活性化に繋がってい</u> <u>くものと考えています。</u> ・つまり、<u>イベントの来場者数が増えることは、</u> <u>本市を訪れる方が増加し、人の交流が生まれ、</u> <u>本市の魅力を知っていただくチャンスが増え</u> <u>るということになります。</u> ・<u>イベント来場者数を把握することは、人を呼び</u> <u>込むためのPRなどの手立て検討の要素であ</u> <u>り、その効果測定の一つになると考えます。</u> ・市内では地域や民間が実施するものも含め、 <u>様々なイベントが行われていますが、全てのイ</u> <u>ベントについて数値を把握するのは困難であ</u> <u>ることから「行政がかかわるイベント」としま</u> <u>した。</u></p>	<p>④その他 (感想やご質問など)</p>
------------	---	--	---	-------------------------------------

1-7	44~45 ページ 目標(7)全般 「みんなでまちをきれいにします」	高浜市は近隣の市と比べて汚いところなの？ 目標①のゴミの排出量は市民の生活が豊かになれば増えるのでは？	<p><意見要旨></p> <p>◆高浜市は近隣市と比べて環境美化の取組みが遅れているのか。</p> <p><回答：市民生活グループ></p> <p>・本年4～5月に実施した「第6次高浜市総合計画の推進に向けた市民意識調査」によりますと、「みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う。」と回答した方が全体の64.1%あり、市民の皆様のご協力により、環境美化に努めているまちだと考えています。</p> <p><意見要旨></p> <p>◆市民生活が豊かになればゴミが増えるのではないか。</p> <p><回答：市民生活グループ></p> <p>・ゴミの減量については、ゴミの量と比例してゴミの資源化率を高めることにより可能と考え、紙類のリサイクルなどをさらに進めてまいりますので、今後ともご協力をお願いします。</p>	④その他 (感想やご質問など)
1-8	46~47 ページ 目標(8)全般 「ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくれます」	目標の意味が理解出来ない、交通渋滞を無くすとか、夜間に市民が安全に散歩出来る町にするとかの方が重要でそんな事が向上して快適な都市になるのでは？	<p>【都市整備G】</p> <p><意見要旨></p> <p>◆「ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくれます」という目標の意味がわからない。快適な都市空間を整備するためには、「ハーモニーを奏でる」ということよりも、「交通渋滞解消」「安全に歩行できる」といったことの方が重要な</p>	②原案どおりとします (原案に対する意見を検討したが、原案どおりとしたもの)

			<p>ではないか。</p> <p><回答：都市整備グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハーモニー」とは「調和」を意味しています。交通網や住環境、ライフラインなど都市を形成する様々な要素について調和をはかることにより、<u>住み心地のよい快適なまちを目指している</u>という目標です。 ・ご意見をいただきました、交通渋滞の解消や安全な歩行環境の整備につきましては、「アクションプラン」に基づき、計画的に実施いたします。 	
1-9	<p>48～49 ページ</p> <p>目標（9）全般</p> <p>「安全・安心が実感できる地域づくりを進めます」</p>	<p>この目標は最終目標でもっとまえにやる目標があるのでは</p>	<p><意見要旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「安全・安心が実感できる地域づくりを進めます」という目標は、<u>防犯・防災の究極の目標であり、もっと段階的に取り組むべき目標があるのではないか。</u> <p><回答：都市防災グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画では「<u>安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます</u>」という目標を掲げ、同報系防災行政無線（屋外拡声器）の整備や市業務継続計画（BCP）の策定などの危機管理体制の強化、標高の見える化、「<u>防災ネットきずこう会</u>」を立ち上げるなどの地域防災ネットワークづくりに向けた検討・実践といった、<u>防犯・防災の基盤の強化に努めてまいりました。</u> ・中期では、<u>前期の取組みをふまえ、防災・防犯</u> 	<p>②原案どおりとします</p> <p>（原案に対する意見を検討したが、原案どおりとしたもの）</p>

			<p>については、「自助」「共助」「公助」を基本として、<u>市民・地域・事業者・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たし、地域ぐるみで安全・安心を守る活動へとステップアップさせ、より広がりを持った事業を展開し、後期へとつなげていきたいと考えています。</u></p> <p>• 取組みの具体的な内容は、「アクションプラン」に基づき、毎年度、課題・成果を点検・検証しながら、目標達成に向けて取組みを進めます。</p>	
1-10	<p>52～53 ページ 目標（10）全般 「一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます」</p>	<p>目標①地域福祉に関するボランティア活動に参加した人の割合 ③地域包括支援センターを知っている人の割合・・・が本当に目標の達成度をみる指標ですか？</p>	<p><意見要旨> ◆指標1)「<u>地域福祉に関するボランティアに参加したことがある人の割合</u>」や、指標3)「<u>地域包括支援センターを知っている人の割合</u>」は、「一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます」という目標の達成度を計る指標として適切なのか。</p> <p><回答：地域福祉グループ> • ①の指標については、<u>地域の中で孤立し、困りごとを抱える方が、その人らしく安心して暮らし続けていただくためには、市民の方に、困りごとを抱える方への理解を広め、見守りや生活の手助け、災害時の避難支援など、地域福祉に関するボランティアとして活動していただくことが重要であると考え、指標として設定しています。</u> • ③の指標については、地域では、<u>子育て、介護、</u></p>	<p>②原案どおりと します (原案に対する意見を検討したが、原案どおりとしたもの)</p>

			<p>健康や生活困窮など、暮らしの中で生ずる困りごとを抱えている家庭が増えています。今後、市では、不安を抱えた方が気軽に相談できる総合窓口として、いきいき広場の「地域包括支援センター」を強化し、困りごとに応じた支援体制を整えていきます。<u>市民の皆さんが安心して暮らしていただくためのセーフティネットとして、この相談窓口があることをぜひ知っていただくため、指標として設定しています。</u></p>	
1-11	<p>54～55 ページ 目標（11）全般 「一人ひとりの元気で健康づくりを応援します」</p>	<p>市民の健康づくりを応援するのではなく市民を健康にする為にどんな方法でどんな仕組みや施設・場所・道具で食生活を含めた取り組みをおこなうべきかがほしい。</p>	<p><意見要旨> ◆「健康づくりを応援する」という漠然とした目標を掲げるのではなく、具体的にどんな仕組み・取組みによって、市民の健康をバックアップしていくのかを盛り込む必要があるのではないか。</p> <p><回答：保健福祉グループ> ・健康づくりは「<u>自分の健康は自分で守る</u>」という自らの取組み、地域での取組み、そして行政の取組みの3つの視点が必要です。 ・基本計画（素案）に掲げた取組みの具体的な内容については、今後「アクションプラン」の中で決めていきますが、<u>マシINSTAジオの整備、健康マイレージ制度の充実などの取組みを検討しています。</u></p>	<p>②原案どおりと します (原案に対する意見を検討したが、原案どおりとしたもの)</p>

<p>2</p>	<p>28 ページ</p> <p>「こんなことに取り組めます！」</p>	<p>【前置き】</p> <p>私は当初より市民会議に加わっていません、今この時点で意見を申し上げる資格はないものとお叱りを覚悟していますが、一言申し上げます。</p> <p>全 11 の基本計画はいずれも、議論に議論を重ねられた素晴らしい内容と理解しています。しかしながら、一方では「まちづくり」に関心の高い集団が作り上げた案になっているとも言えます。現在、直接本会議に参加されていないが、我々以上に深い考えをお持ちの方も見えるはずで、ここで3年が経過した今、次に一つの意見を述べます。</p> <p>【意見】</p> <p>以上述べたように、あたかも地域活動に参与している極一部の人が、市民会議と言った全住民を巻き込んだ活動体であると自画自賛してはいけません。真の意味で今、関心があるもののその場面に接する機会のない人達、また全くの無関心層も含めて、彼らを如何に引っ張り込むかが問われています。</p> <p>そこで目標(1)を例に取り上げるならば、その「取り組み事項」に次の内容を追加(要検討)してください。</p> <p>【提案】</p> <p>「大家族たかはま」として何を望んでいるかを市民に直接問い掛ける。私が考える浅はかな主張</p>	<p><意見要旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆これまでまちづくりに縁がなかった人たちをいかに巻き込んでいくかが大切である。 ◆そのためには「取組事項」に、これまでの市民会議資料の概要版を全世帯に配布して、広く市民に意見を求め、その意見をふまえて、さらに市民会議で検討するという内容を追加してはどうか。 <p><回答：地域政策グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつまでも住み続けたい」と思える高浜市を創っていくために、多くの市民に市政に関心を持っていただき、一人ひとりが持っている力を出し合い、みんなで高浜市を創っていくことが大切です。 ・ご提案の「大家族たかはま」として望むことを全世帯に配布し、意見を求めるという提案につきましては、<u>市民に直接働きかけることの重要性は理解しますが、費用対効果も考慮する必要があります。</u> ・<u>ホームページ、広報紙、まちづくりトーク&トークなど、情報発信や情報交換を活発にして、まちづくりの課題や課題を共有する取組みを進めたいと考えております。</u> 	<p>②原案どおりとします (原案に対する意見を検討したが、原案どおりとしたもの)</p>
----------	--------------------------------------	--	--	---

		<p>は次の通りです。</p> <p>① 今までの市民会議資料を読む側に立った受け入れやすさを考慮した要約文として全世帯に配布し、その意見を求める。</p> <p>② 無視される方も大勢見えるかと思いますが、少しでもその回答を期待したい。</p> <p>③ その貴重な回答を受けて、市民会議メンバーが更に揉み上げる事により、緊張感が更に高まるのでは？</p>		
3	52～55 ページ	<p>1. P53・55 について共通的な考え方の中での意見。</p> <p>①基本目標 いつも笑顔で健やかに、つながり100倍ひろげよう</p> <p>(イ) こんなことに取組ます・・・の活動は ・安心安全の町づくりと ・住みたくなる町高浜 の精神を確かに受け止めモデル的な自治体を目標に進めていると思いますが</p> <p>(ロ) 安心 安全 健康づくりを進めるために <u>3年経過後の中計案であるので 現状と4年後の姿が見えていてもよいのでは</u></p> <p>②成果の確認について</p> <p>(イ) 目標 10と11は、4年後の姿だけではなく()内で年度又は中間の目標値を入れることが必要なケースと感じます</p>	<p><意見要旨></p> <p>◆高浜市は福祉のまちとして、モデル的な取組みを進めてきた。前期基本計画の取組みをふまえて、中期の素案が練られているはずなので、現状・課題は何か、そして中期の最終年度である4年後の高浜市の福祉や健康づくりの目指す姿を、明確に描いていただきたい。</p> <p><回答：地域福祉グループ></p> <p>・「こんなことに取り組みます！」に掲げた内容については、市民の皆さんが安心して暮らし続けられるよう、<u>前期基本計画の施策評価結果や、課題等を洗い出した施策カルテ、地域や市民の声などから課題を抽出するなど、現状の福祉課題に対応したもの</u>としています。</p> <p>・<u>この取組みを実施することにより、4年後に「目標が達成された姿」を実現できるよう市民の皆さんとともに進めていきたい</u>と考えています。</p>	<p>②原案どおりとします (原案に対する意見を検討したが、原案どおりとしたもの)</p>

		<p>が</p> <ul style="list-style-type: none"> • P52～55は何を どうしようとするか 解らない • 4年後に 目標値の数値が 例えば1% 又は 現状と同じ 0%でもOKか、アンケートの数値も同じ？ 	<p><意見要旨></p> <p>◆超高齢社会への対応は喫緊の課題であることから、目標（10）と目標（11）の「みんなで目指すまちづくり指標」については、4年後の目標値だけでなく、計画の中間年の目標値も設定しておく必要があるのではないか。</p> <p><回答：地域政策グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> • 行政は利潤を追求する民間企業と違い、公益的な観点で施策に取り組んでおり、1年ごとに指標の目標値を設定することがなじみません。 • よって、いずれの目標においても中間年の目標値は設定せず、中期基本計画の4年間で目指す目標値を定め、毎年度、成果を点検・検証しながら、計画を推進してまいります。 <p>目標(10)の指標について</p> <p><回答：地域福祉グループ></p> <p>〔指標①〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域の中で孤立し、困りごとを抱える方が、その人らしく安心して暮らし続けていただくためには、市民の方に、困りごとを抱える方への理解を広め、見守りや生活の手助け、災害時の避難支援など、地域福祉に関するボランティアとして活動していただくことが重要であると考え、指標としました。 <p>〔指標②〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 超高齢化社会の到来により、認知症高齢者の増 	
--	--	---	--	--

			<p>加が予測されます。認知症となっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、<u>認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けをする「認知症サポーター」の存在が欠かせないことから、指標としました。</u></p> <p>〔指標③〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>地域では、子育て、介護、健康や生活困窮など、暮らしの中で生ずる困りごとを抱えている家庭が増えています。</u>今後、市では、不安を抱えた方が気軽に相談できる総合窓口として、いきいき広場の「地域包括支援センター」を強化し、困りごとに応じた支援体制を整えていきます。<u>市民の皆さんが安心して暮らしていただくためのセーフティネットとして、この相談窓口があることをぜひ知っていただくため、指標としました。</u> • 目標 10 のまちづくり指標について、①と③については、<u>現状値を踏まえ、単年度単位の積み上げを基に、2017年の目標値を設定します。</u>どちらの指標も現状値からの上昇を目指します。また、②については、<u>単年度単位の積み上げを基に、2017年の目標値では、現状値の倍増を目指します。</u> 	
--	--	--	---	--

			<p>目標（11）の指標について</p> <p><回答：保健福祉グループ></p> <p>〔指標①〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • <u>運動やスポーツを行うことは、健康づくりの基本</u>です。サークルやチームでスポーツを楽しんでいる人、個人やグループでウォーキングを楽しむ人などが<u>増えることが健康の維持、そして健康増進につながる</u>ことから指標としました。 <p>〔指標②〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 常日頃から患者の状況を把握する「<u>かかりつけ医</u>」を持つことは、<u>コンビニ受診の抑制と救急医療体制の確保につながる</u>ことから指標としました。 • 目標 11 のまちづくり指標については、<u>2017年の目標値の設定に当たり、単年度単位の積み上げを基に設定</u>します。また、2つの指標については<u>どちらも現状値からの上昇を目指</u>します。 	
4	44 ページ 目標（7） 「こんなことに取り組みます！」	<p>紙ごみのリサイクル・減量化について</p> <p>① 発表の中では、生ごみと一緒に紙を捨てている・・・とありましたが、我が家では紙の枚数が多い場合は紙の分別をします。しかし 少ない場合は黄色のゴミ袋と一緒に入れて捨ててしまいます。</p>	<p><意見要旨></p> <p>◆紙ごみの処理の仕方を市民に告知する必要がある。</p> <p><回答：市民生活グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> • 高浜市の可燃ごみの中には、まだまだ、リサイクル可能な紙がごみとして捨てられ、新聞、雑誌などある程度まとまった紙類はリサイクル 	③意見として承ります（原案の内容以外の意見を承ったもの）

		<p>又、シュレッダーにかけた紙も同様です。このあたりの処理の仕方を明確にする（市民に告知）必要があるかと思えます。</p> <p>②不法投棄の件。私も町を歩いていて最近よく見ます。非常にいやな気持ちになります。</p> <p>思うには最近、町内会への加入を拒む方が多いのでは、と感じています。そのため、市・町内会等からの情報が無く適当な場所に捨ててしまうのではないかと。</p> <p>町内会への強制加入は出来ないかもしれませんが「・・・大家族たかはま」のキャッチフレーズのように何らかの形で同じ市民と言う感覚を持っていただきたいですね。</p> <p><ごみの無いきれいな街づくり、同じ市民として頑張りましょう></p>	<p>として処理されていますが、ダイレクトメールなど個人情報が記載されているものや、お菓子の空き箱などが可燃ごみとして捨てられている現状にあり、まだまだリサイクルの余地があると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙ごみのリサイクルを進めるためには、ご指摘のとおり、市民への情報発信が重要と考え、毎年お配りしています「リサイクルカレンダー」、改定を予定しています「ごみ分別便利帳」などを活用してまいりたいと考えています。 <p><意見要旨></p> <p>◆不法投棄、ごみのないきれいなまちづくりを目指して、市民同士が頑張る必要がある。</p> <p><回答：市民生活グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄の原因につきましては、町内会未加入者への情報不足もひとつの要因と考えており、「リサイクルカレンダー」の全戸配布、高浜市公式ホームページによる情報発信の充実や、第2、第4日曜日開催しています分別特別拠点のあり方など、不法投棄せず、分別しやすい環境づくりについても検討してまいります。 いずれにしましても、頂戴しましたご意見については、同様の考えをもっており、たいへん心強く思っていますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。 	
--	--	--	---	--

5	<p>54 ページ 目標 (11) 「こんなことに取り組みます！」</p>	<p>「こんなことに取り組みます！」この中から・・・生涯現役について。 現在、担い手としていろいろと取り組んでいますが、11月1日より「たかま元気 De ねっと」が開局せれていよいよ本格的に始動！！ ホームページについて ① メルマガ登録が簡単なのがいいと思います。 ◇たくさんの方が登録されると思います。又、登録されるように推進もする必要もあるかと思ひます。 ②検索は「たかま元気」でヒットしました。「たかま」ではヒットしなくて市役所のHPからリンクをチェックすると「かりや衣浦つながるねっと」はありましたが「たかま元気 De ねっと」は見つかりませんでした。出来ればリンクを・・・</p>	<p><意見要旨> ◆生涯現役のまちづくりのホームページ「たかま元気 De ねっと」のメルマガ登録が増える工夫が必要である。 <回答：福祉企画グループ> ・生涯現役のまちづくり専用ホームページ「たかま元気 de ねっと」をご覧いただき、誠にありがとうございます。 ・メールマガジンにつきましては、多くの皆さんに登録していただくため、<u>ホームページはもちろん、情報紙「でいでーる」や広報たかまなどへ積極的に情報を掲載しています。また、携帯電話で簡単に登録ができるよう、QRコードも掲載していますので、ぜひご活用ください。</u></p> <p><意見要旨> ◆生涯現役のまちづくりのホームページ「たかま元気 De ねっと」を市のホームページとリンクしてはどうか。 <回答：福祉企画グループ> ・ご指摘いただきありがとうございます。<u>高浜市の公式ホームページから「たかま元気 de ねっと」へのリンク対応を行いました。</u></p>	<p>③意見として承ります (原案の内容以外の意見を承ったもの)</p>
6	<p>54 ページ 目標 (11) 「こんなことに取り組みます！」</p>	<p>かかりつけ医と病院の病診連携の促進で、地域医療の充実に関しては、私は、先日、説明をお聴きして理解できましたが、市民の方はいろんな面</p>	<p><意見要旨> ◆「病診連携」について、市民に周知する必要がある。</p>	<p>③意見として承ります (原案の内容以外の意見を承ったもの)</p>

	みます！」	からの告知徹底していく必要があるかと思いま す。 ◇広報だけでなく可能かどうかはわかりませ んが、病院に告知ポスターの掲示 etc	<回答：保健福祉グループ> ・市では、刈谷豊田総合病院と診療所をつなぐ地 域医療ネットワークの運用開始に合わせパン フレット「 <u>上手なお医者さんのかかり方</u> 」を作 成し、 <u>医療機関に置いていただくなど周知を回 っています。</u> ・引き続き、 <u>様々な機会や媒体をとおしてPRに 努めてまいります。</u>	の意見を承った もの)
7	38～39 ページ 目標（5）全般 「地域ぐるみで子育 ち・子育てを支えま す」	私は、来春小学校へ入学を迎える子を持つ親で すが、確かに、保育園での待機児童はへっている ように思いますが、情報を聞き、「あそこの園は 希望者が多いらしい」と別の園へ通わせる方もい ます。できれば、学区内の園へ希望する子は入れ るようにしてほしいです。 そして、卒園と同時に預け先がなく、仕事を辞 めざるえない方、時間を少なくする方が周りにた くさんいます。 低学年の内は1人で家で留守番させるのは心 配ですが、学童保育は今、いっぱい入れないと 聞きます。 また、私の子は人見知り激しく初めての場所 も苦手なため、もし学童に入れてもなじめるか心 配です。 学校で学童保育をしてもらいたいです。慣れた 環境ですし、行く道々事故にあったりしないかの	<意見要旨> ◆ 保育園の入園について、希望の園に入れるよう にしてほしい。 <回答：こども育成グループ> ・国が定めた「子ども・子育て支援法」が、平成 27年度に本格的に施行されることから、各自 治体に義務づけられた「子ども・子育て支援事 業計画」を高浜市でも策定をしていきます。 ・この計画では、保育園、幼稚園、児童クラブ等 のニーズ調査に基づき、 <u>定員等の見込みをどの ように確保していくか計画を定めていくもの です。</u> その際には、今回のご意見も参考にさせ ていただきます。 <意見要旨> ◆ 子どもを1人にしない環境づくりとして、学校 で学童保育をしてもらいたい。	③意見として 承ります (原案の内容以外 の意見を承った もの)

		<p>心配もしなくてすみます。</p> <p>学校であれば、学童の子達をみる方の人数も少なくて済むのではないのでしょうか？職員室の近くの教室を使い、許可証をもった人でしか学校内に入れないようにすれば、不審者対策にもなりませんか？</p> <p>せめて、3年生までは学童保育など、子供を1人にしない環境をつくってほしいと思います。</p>	<p><回答：こども育成グループ></p> <p>・小学校の教室について現状を伝えさせていただきますと、<u>高浜小学校以外では空き教室がないのが現状です。しかしながら、学校は児童や保護者にとって安心できる場所でありますので、そのような視点も「子ども・子育て支援事業計画」策定の参考にさせていただきます。</u></p>	
8	20 ページ 目標（6）の項目について	<p>来年から長女が小学校に入学します。</p> <p>私は短時間のパートをしているので、夏休みだけでも学童に預けたいと思っていたのですが、夏休みだけ学童を利用することはできないと聞きました。</p> <p>そうすると、夏休み中は小学1年生の子どもを一人で留守番させなければいけません。</p> <p>もちろん仕事も辞める事はできません。</p> <p>非常に困るので、夏休みだけの学童利用もできるようにしてほしいです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p><意見要旨></p> <p>◆夏休みだけでも、学童保育を利用できないか。</p> <p><回答：こども育成グループ></p> <p>・夏休みについては、期間中の利用者が平均的に減少することから、どの児童クラブにおいても弾力運用をして、通常より受入人数を増やして対応しています。利用を希望する児童クラブへお問い合わせください。</p> <p>・また、夏休みは児童センターの事業を充実させております。</p>	③意見として承ります (原案の内容以外の意見を承ったもの)
9	38～39 ページ 目標（5） 「目標達成に向けての考え方」 ・子育てニーズを把握	<p>小学生を預けることを必要としているのはフルタイムで働いている人だけではありません。児童クラブの入会制度は、入会したら毎月お金を払い続けなければいけないので、フルタイムで働いている人には合っていますが、その他様々な勤務</p>	<p><意見要旨></p> <p>①平成26年4月から、小学生対象の預かり保育を実施してはどうか。</p> <p>②平成26年4月から、児童センターの利用のあり方を改善してはどうか。</p> <p>③どのような方法でも良いので平成26年4月</p>	③意見として承ります (原案の内容以外の意見を承ったもの)

<p>し、施設などの活用や様々な主体との連携・協力により、ニーズに即した子育てしやすい環境づくりを進めることが重要です。</p> <p>「こんなことに取り組みます！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高浜市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、多様で柔軟な保育サービスの提供など、子育てニーズを適切なサービスに結びつける取組みを進めます。 <p>「目標が達成された姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てと仕事の両立など、安心して子どもを産み、育てられる環境が整っています。 	<p>形態や病気などには柔軟に対応できていません。また、放課後居場所事業は1年生の4月の給食が未実施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日は、利用できないので、短時間の仕事をしている人が小学生を預ける場所としては対応できていません。子育てニーズをしっかりと把握し、ニーズに即した子育てしやすい環境づくりを進めてください。多様で柔軟な保育サービスを実施するには、幼稚園の預かり保育を小学校でも実施することが必要だと考えます。子育てと仕事の両立など、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えてください。支援の対象は、もちろん1年生から6年生まで必要です。27年度からでは遅いので、26年度から実施してください。今すぐ必要としている人がたくさんいます。</p> <p>2013年10月5日の中日新聞（別紙参照）にも学童保育の待機児童について書かれています。愛知県は待機児童数が全国で3番目と、深刻な状況です。名古屋市は、小学校の空き教室を利用する文部科学省の「放課後子ども教室」と同じ場所で学童保育を運営する方法を進め、ゼロを達成しています。高浜市も「放課後子ども教室」と同じ場所で運営する方法で、小学生の安心、安全な居場所を作ってください。新聞には愛知県について「保育所の整備は進んだが、放課後児童ク</p>	<p>から、1年生の4月の給食が未実施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日、放課後に、保護者が希望するすべての小学生の安心、安全な居場所をつくってほしい。</p> <p><回答：こども育成グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中期基本計画」（素案）の「こんなことに取り組みます！」に掲げているとおり、「高浜市子ども・子育て支援事業計画」を策定しますが、これは国が定める「子ども・子育て支援法」が平成27年度より本格実施されることに基づくものです。 ・「子ども・子育て支援事業計画」では、<u>保育園、幼稚園や対象年齢が拡大される児童クラブ等のニーズ調査を踏まえ、サービス量の見込みや確保の内容、実施時期等を策定していくこと</u>になります。 ・スケジュールとしては<u>ニーズ調査を踏まえ、平成26年度中に計画策定をし、平成27年度から計画を実施していく</u>予定です。 ・児童クラブを含めた小学生の居場所については、平成26年度は児童センターの活用を夏季休暇において試行的に実施し、平成27年度につなげる予定です。 ・計画策定においては、頂いた意見を参考にして、進めていきたいと考えております。 	
--	--	---	--

		<p>ブは遅れている。保育所を出て小学校に入学したとき、クラブに入れない状況が生まれている」と書かれています。私たち働く母親は、これを痛感しています。26年度より、居場所を用意してください。</p> <p>先日、市民意見箱に『平成26年4月からの、1年生の4月の給食が未実施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日、放課後に、保護者が希望するすべての小学生の「安心、安全内場所」をつくってください。』という提案書を提出し、回答をいただきました。</p> <p>回答は、放課後居場所事業と児童センターの現状の説明が大半を占め、最後に「児童クラブの受け入れ及び入会できなかった児童の居場所としての事業が、平成27年度より実施できるように検討に入っている」という内容が書かれていました。放課後居場所事業と児童センターの現状は承知しています。それをふまえて困っているから改善を求めるために提案しましたが、私の提案に対する回答はありませんでした。提案内容は以下の通りです。今回の第6次高浜市総合計画 基本計画【中期】〔素案〕についての意見・提案でもあります。</p> <p>私たち夫婦は県立学校に勤めており、5歳の娘</p>		
--	--	---	--	--

	<p>と3歳の息子は吉浜北部保育園に通っています。</p> <p>私は教師として教育について勉強しています。子どもの健全な発達には、幼児期、学童期に親とのかかわりはもちろん、生育環境はとても重要です。つらい思い、寂しい思いをして育った子どもは、その歪が思春期や青年期に現れ、無気力、リストカットなどの自傷行為、摂食障害、不登校、うつ病、家庭内暴力などの症状として出たりするのです。このような症状は、虐待やネグレクトなどの過酷な状況で育った子どもに現れるものではありません。一見幸せそうな家庭で育っていても、やむを得ず子どもにつらく寂しい思いをさせてしまった子どもにも起こりうるのです。</p> <p>このことから私は、部分休業の制度を利用して勤務時間を短くし、保育園をできる限り通常保育の時間内（8時30分から16時）で利用することで、働きながらもできる限り子どもと過ごす時間を増やし、子どもがつらく寂しい思いをせず、安心して過ごせる環境を整えるよう努めています。</p> <p>来年の4月に娘が小学校に入学し、1年生の下校時間は14時50分になります。娘の帰る時間に合わせて更に勤務時間を短くするため、育児短時間勤務の制度を利用する予定です。私の職場で利用できる子育ての制度を精一杯利用した状況です。</p>		
--	---	--	--

		<p>それでも、1年生の4月の給食が未実施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日は、仕事で娘と一緒にいてあげることができません。職場の年次休暇を利用しても日数に限界があります。なので、これらの期間は子どもが安全に安心して過ごせるように児童クラブを利用しようと考え、吉浜児童センターや高浜市の児童クラブをまとめてみえる翼児童センターの水野さんに電話で話を伺いました。しかし、母親の勤務時間が短い場合、優先順位が低いので学童の利用が「現状では難しい」というお話でした。対象とする人や曜日が限られていてその状況はとても十分とは言えません。改善をお願いしましたが「現状では難しい」というお答えでした。</p> <p>放課後居場所事業の存在を知り、市役所に問合せましたが、私が必要としている1年生の4月の給食が未実施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日は、利用できないというお話でした。他に高浜市内で利用できるものがないかと尋ねると、色々調べて下さり再度返答をいただきましたが、市のサービスで子どもの居場所となりうるものはなく、やはり「現状では難しい」というお答えでした。</p> <p>また、吉浜の盆踊りで市長さんにお会いすることができたので、1年生になったら子どもの居場所がなくて困っている状況を伝えました。市長さ</p>		
--	--	---	--	--

	<p>んは親身に聞いてくださり、「まち協が対応していると思う」というお話でしたが、吉浜のまち協に尋ねると「吉浜ではやっていない。南部だけやっている。」というお話で、「吉浜地区は現状では難しく今後も予定はない。」とのことでした。</p> <p>今まで私は高浜市で子育てをし、子育て支援への充実を実感し、満足し、感謝していました。子どもが小さい頃から子育て支援センター、幼稚園、保育園でお世話になり、小さな悩みから大きな悩みまで、いちごプラザの先生やそこで出会ったお母さんたち、ノーバディーズ・パーフェクトで出会った講師の先生や友達、保健師さん、栄養士さん、歯科衛生士さん、幼稚園や保育園の先生などに助けてもらいました。整った環境の中で多くの方に支えていただいていたおかげで、やっとここまで子育てをしていくことができました。</p> <p>しかし、小学生になった途端、子どもの居場所さえありません。小学生はまだまだ子どもです。1年生だけでなく6年生まで見守りが必要な時期です。家で一人で待たせることなどは、子どもの安全面、精神面においてとても問題があります。小学生の子どもがいるお母さんに話を伺うと、仕事でやむを得ず、夏休みに家を空けている間、子どもはどこにも出かけたがらず、仕事から帰ってくると、子どもはいつも元気がなく「だるい」と言うと話していました。子どもも親もつら</p>		
--	--	--	--

		<p>い思いをしているのです。私はこれからこのような環境で子どもを育てていくと、その歪が思春期、青年期に現れてしまうのではないかととても心配しています。高浜市の未来をつくるのは子どもたちです、その大切な子どもたちを育てる環境を整えることは高浜市の重要な課題ではないでしょうか。</p> <p>私が子どもの頃とは社会が変わりました。核家族が増え、同居の家族の協力が得られない人がほとんどです。働く女性も増えました。一般的な家庭でも父親の1人の収入で生活していくことは厳しい時代になってきており、生きていくために母親も働いているのです。社会の変化に市の役割も対応していったほしいと願っています。こども育成グループの中で他にも色々な課題があるとは思いますが、この問題は優先すべき課題ではないでしょうか。「現状では難しい」その「現状」を早急に改善してほしいと切実に願っています。高浜市の対応が遅れているその間に、高浜市内の家庭ではどんどん問題が生じてくるのです。</p> <p>市の対応を願っているのは私だけではありません。私と同じ境遇の親は高浜市内に数多くいます。保育園を通常保育の16時に代える子どもたちの多くは学童に入れず、その中の多くの子が小学生になると、1年生の4月の給食が未実施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日、居</p>		
--	--	---	--	--

		<p>場所がないのです。同じ保育園のお母さんに小学生になったらどうするかと尋ねると、「勤務時間が短いから児童クラブに入れないしね。どうしよう。」と口をそろえて言います。やむを得ず「仕事を辞める」という人もいます。そしてほとんどの人が「どうせ無理だから児童クラブは申し込まない。」と言います。困っているのは児童クラブに審査で入れなかった人だけではありません。その何倍もいます。そして現在小学生の家庭でも困っている人がたくさんいます。寂しい思いをして一人で親の帰りを待っている子がいるのです。</p> <p><提案1>平成26年4月からの小学生対象の預かり保育の実施</p> <p>現在の児童クラブは、審査に通った限られた児童が対象で、入会したら解約するまで毎月料金を払わなくてははいけません。</p> <p>幼稚園で実施されている預かり保育はとても素晴らしいシステムだと思います。審査はなく、保護者の希望で1日単位、週単位、月単位で預けることができます。これを小学生の全児童を対象に、1年生の4月の給食が未実施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日に実施してほしいと考えます。そうすれば、児童クラブの審査によって入ることができない共働きの家庭の子どもの居場所ができます。さらに平日の授業後にも実</p>		
--	--	---	--	--

		<p>施すれば、就労で子どもの帰宅時間までに家に帰ることができない家庭や、4年生から6年生の子どもに居場所ができます。また、母親の体調不良や出産、兄弟の検診などで困ったときにも利用することができ、ほとんどすべての小学生に安心して安全な居場所ができます。</p> <p>場所は幼稚園と同様で下校時間後の小学校の教室や運動場が良いと考えますが、他の安全な場所でも良いです。</p> <p><提案2>平成26年4月から児童センターのあり方の改善</p> <p>吉浜の児童センターに問い合わせたことですが、現在の児童センターは、児童クラブに入会できた児童にはできて、一般の利用にはできないことがいくつかあります。</p> <p>①一般利用者はランドセルを持ったまま学校から直接児童センターに行くことができない。</p> <p>②一般利用者は弁当を持参して食べることができない。</p> <p>③児童クラブの子どもよりも一般の利用者の方が、利用時間が短い。</p> <p>この規則が改善され、児童クラブの子どもと同じように児童センターを利用することができれば、預かり保育と同様にほとんどすべての小学生に安心して安全な場所ができます。</p>		
--	--	---	--	--

		<p>これらの改善がない現在の状況で、両親が働いていても児童クラブに入れなかった子どもが児童センターを利用すると次のような問題が生じます。</p> <p>1年生の給食未実施の時期には、子どもに鍵を持たせて一人で家に帰り、一人でご飯を食べ、再び児童センターまで一人で行くことになります。交通安全、防犯、子どもの体力的な心配もあるし、誰もいない家に帰り、一人で食事することは子どもに寂しい思いをさせるので精神的な負担になります。</p> <p>また、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日に児童クラブを利用する場合、一般の利用者は児童クラブに入れる時間が遅いので、親が仕事に行った後に家で一人になり、自分で鍵をかけて一人で児童センターに行くことになります。そして、家に帰って一人で食事をし、再び児童センターへ行くことになります。この場合も、交通安全、防犯、子どもの体力、精神面など問題が多く、安心、安全に利用できる状況ではありません。</p> <p>①～③を改善した状況で利用する場合は、人件費などの問題もあると思うので、預かり保育のように有料で良いと考えます。</p> <p><提案3>その他どのような方法でも良いので平成26年4月から、1年生の4月の給食が未実</p>		
--	--	---	--	--

		<p>施の期間、春休み、夏休み、冬休み、行事の代休日、放課後に、保護者が希望するすべての小学生の安心、安全な居場所をつくってください。</p> <p>以上＜提案1～3＞のいずれかの対応をお願いします。つらい思いをしている親子のために速やかな対応をお願いします。</p>		
--	--	--	--	--